

一 般 質 問 通 告 書

平成 29 年 05 月 29 日

阿見町議会議長 紙井 和美 様

阿見町議会議員 海野 隆 印

平成 29 年第 2 回阿見町議会定例会において、次の事項について質問したいので通知します。

質問事項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1、あみ大使の現状と課題について／ネットワークを駆使した今後の展開を図るべきではないか	1、町の魅力を全国にPRする『あみ大使』は平成22年に、ものまねコンビのノブ&フッキー、ライブ活動やゲーム音楽を制作するシンガーソングライターの薬師るりさん、茨城放送のラジオ番組パーソナリティとして活躍した藤田加奈子さんの3組に委嘱して始まった。あみ大使設置要綱によると、その趣旨は、「阿見町の魅力を全国に紹介するとともに、町への有益な情報の提供、提言及び助言を受けるため」としており、どのような人物にあみ大使を委嘱するかは、「町にゆかりがあり、町に対する理解、関心及び愛着を持ち、それぞれの専門分野において活躍する著名な者」のうちから、町長が委嘱することとされている。任期は5年で再任もできるとされているが、1、これまでにどのような分野のどのような方が委嘱されているのか、2、あみ大使の活動及びあみ大使との懇談や提言、助言などの実績、3、制度創設の趣旨に相応しい今後の展開について、伺いたい。	町長
2、広域連携の一層の推進について／体育及び文化施設、図書館の相互利用を図るべきではないか	1、住民の生活や通学、通勤等の活動範囲はあっそう広域化している。自治体の公共公益施設の整備は中心市街地に重点が置かれるが、地域によっては隣接自治体の公共施設が身近にあるなど、自治体間の住民が相互に公共公益施設を利活用できるようになることは大きなメリットがある。限られた財源の中で、住民の要望に応えるためには、隣接する自治体がそれぞれの資源を共有し、相互利用の推進を図ることが必要であると考えるが、1、公共公益施設の広域連携の現状について、2、今後の広域連携の取り組みについて、3、特に土浦新図書館の整備を踏まえた隣接図書館の相互利活用の方向性について、伺いたい。	教育長

<p>3、生活道路整備基準の緩和ないしは特例を適用し舗装整備を推進すべきではないか</p>	<p>1、生活道路の整備は、住民の日常生活の質の向上に不可欠なもので、納税の実感及び納税意識を喚起する最も重要な施策である。しかし、町内にはいまだ舗装整備されていない生活道路が散見される。長い間、地区住民から切望されている道路もあり、実現の道筋を示すことができずに、一般住民が町に不信感を持っている路線もある。生活道路の舗装整備は、特に、障がいを持つ方々や高齢者にとっても不可欠な政策であり、整備困難な道路については現状を率直に受け止めて、整備を推進するべきであると考えるが、1、地区別及び市街化・市街化調整区域別の生活道路整備要望箇所数と整備箇所、2、年度別予算配分、3、阿見町生活道路整備に関する基準について、4、自衛隊朝日燃料支処西側の生活道路及びサンクレイドル荒川沖北側、西郷地内やすらぎのカスミ台南側、県立医療大学北側中央一丁目の生活道路の整備見込み、について伺いたい。</p>	町長
<p>4、国民保護計画にもとづく武力攻撃事態等における町民への情報提供、町民の避難、避難住民等の救援、武力攻撃災害への対処等について</p>	<p>1、阿見町は、平成19年2月（平成28年3月に一部改訂）、国民保護計画を策定し、武力攻撃事態等において、町民の避難、避難住民等の救援、武力攻撃災害への対処等の国民保護措置について定めている。町は、武力攻撃事態等において、町民の協力を得つつ、関係機関と連携協力し、自ら国民保護措置を的確かつ迅速に実施することとなっている。近年の東シナ海、日本周辺の政治状況は、領土問題や北朝鮮による核兵器開発、弾道ミサイルの発射などきわめて緊迫した情勢である。そうした中で、政府は本年4月、「弾道ミサイル落下時の行動等について」という対応方針を国民に向けてホームページに掲載した。阿見町も、同様方針を転載している。阿見町及び周辺には自衛隊基地及び施設が数多く立地し、特に航空自衛隊霞ヶ浦分屯基地高射隊には広域防空用地対空誘導ミサイル「ペトリオットPAC3」が装備されている。そうした情勢の中で、自衛隊基地所在の阿見町として武力攻撃等の事態に備えてどのような対応を考えているのか、1、国民保護協議会での議論について、2、弾道ミサイル等発射時の情報提供及び対応について、3、ミサイル着弾及びペトリオットPAC3迎撃時の対応について、伺いたい。</p>	町長

平成 年 月 日受領・受付番号

※ 質問の趣旨は、できる限り具体的に記入願います。

※ 電話・FAX等により申し込みはできません。